

上院議員がUSPTOに対し特許の品質向上を要求

2014年8月13日
JETRO NY 今村・丸岡

Jeff Merkley 上院議員（オレゴン州選出、民主）¹含む五名の上院議員²は、8月6日、Penny Pritzker 商務長官宛に特許の品質向上に関するレター³を提出した。

同レターの中で、USPTOがこれまで行ってきた品質管理向上に関する取り組みを評価しつつも、「特許の質を改善すれば、パテントロールの活動は抑制される。最高裁では本年度、一部の特許を無効にする判決が出された。USPTOにおいては、現在同庁が有するツールを用い、審査プロセスの改善と特許の質向上に努めることが、今までにない程重要になっている」と述べている。

具体的には、曖昧で質の低い特許の出願に対して特許査定を出すインセンティブを審査官に与えないこと、クラウドソーシングやデータ分析に基づき、有効性が疑われる可能性がある特許の種類を特定すること、市民がアクセスできる情報の量を最大限にすることなどを提言している。（以下、「レターポイント」参照）

特許改革を支持するロビー団体 Main Street Patent Coalition は、Merkley 議員らの提言を歓迎する声明⁴を公表し、その中で、「パテントロール対策の策定においては、質の低い特許が発行されているという問題にもっと焦点を当てるべきである。また、いたずらな訴訟に対する費用の削減や悪意のデマンドレターを含むロール対策の法改正が効果的である。」としている。

¹ [Jeff Merkley 上院議員のプレスリリース](#)

² Jeff Merkley 上院議員（オレゴン州選出、民主党）、Sens. Mark Begich 上院議員（アラスカ州選出、民主党）、Martin Heinrich 上院議員（ニューメキシコ州選出、民主党）、Tom Udall 上院議員（ニューメキシコ州選出、民主党）、および、Mark Warner 上院議員（バージニア州選出、民主党）

³ [レター原文（PDF）](#)

⁴ [Main Street Patent Coalition からの声明](#)

<レターポイント>

- ① USPTOは、審査官のマネジメントシステムや業績評価基準を、審査処理件数ベースから、品質を重視するよう見直すべきである。
- ② 特許審査官は、審査の経緯を書類に残すべきである。それにより、審査初期段階の曖昧な判断であれ、書類として残ることになる。また、審査官は審査プロセスにおける出願人とのやり取りを詳細に記録し、提供すべきである。
- ③ USPTOは、効果的な権利範囲の特許を生み出すよう、審査官が出願人を指導することを奨励するべきである。
- ④ USPTOは、特許の品質向上や権利範囲の明確化への取り組みについて、クラウドソーシングや、統計分析を利用するべきである。それにより、曖昧な権利範囲のある特許や、訴訟リスクの高い特許の特徴を分析することができる。
- ⑤ USPTOは、特許情報、審査経過情報が公衆から確実にアクセスできるようにするべきである。特にUSPTOのウェブサイトから検索可能にすることが重要である。

また、米国知的財産権者協会(IPO)は会員向けニュースにおいて今回のレター提出を踏まえた記事を掲載し、当レターの発出を歓迎した上で、特許の品質の向上は非常に難しい問題であり、長い間知財業界で議論され続けているテーマだとコメントしている。

以上